桂川学区

データファイル

- 人　口　9,891人
- 世帯数　3,946世帯
- 面　積　1.220km²

＊平成17年国勢調査（10月1日現在）

安心して暮らせる住みよいまち桂川学区を目指して

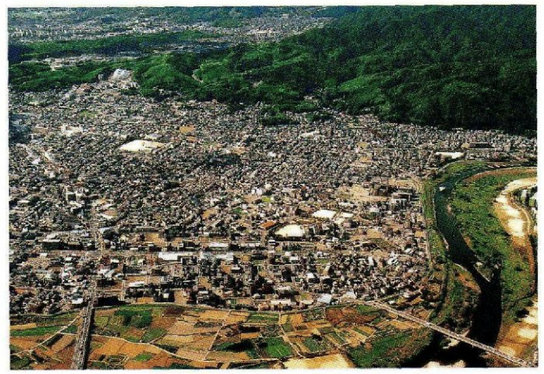
桂川学区が桂学区から分離独立してから本年で30周年になり，同時に桂川小学校も開校30周年を迎えることになります。当学区は昔の上野村（大昔は神野村と書く）と上桂村の区域から形成され，上野地区には産土神社，観世寺，龍王明神，北向地蔵尊等があり，上桂地区には上桂御霊神社，長恩寺，千光寺等があります。なかでも御霊神社の境内にある市民誇りの木『クスノキ』は，樹齢百数十年を経て幹の太さ4mの大木に育ち，それぞれ往年の歴史を物語っています。

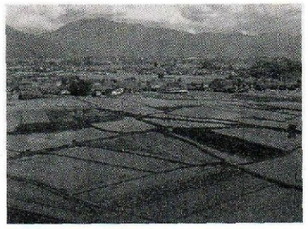
当学区の東北部は桂川の清流と緑に恵まれ，南西部は国道9号線と嵯峨街道に面し各都市への交通要衝の地となっており，住宅地域・商業地域として共に発展しています。

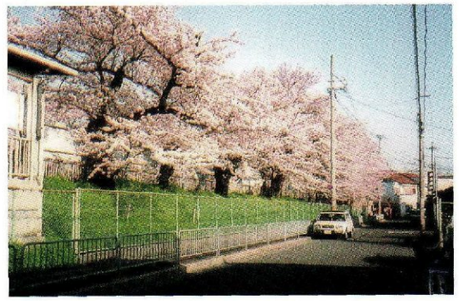
また，学区の東北部で実施された土地区画整理事業により，都市化の進展と共に人口が急増し，平成18年5月1日現在の人口は3,979世帯，9,946人でこの10年間に1,128世帯・2,648人増（各4割）となっており，西京区内でも増加の著しい学区になっています。また，若い世帯の増加により児童数も急増したことから，最近10年の間に，上桂公園の整備，桂川自治会館の建設，桂川小学校の校舎増築，桂川児童館の建設，かつらがわ保育園の開園等が行われ，桂川小学校の周辺部は，子育て支援と社会福祉活動推進の中心地域となっています。

一方，学区内の犯罪は人口の増加とともに多くなり，用心が悪くなりました。また，最近の通学児童に対する悪質な犯罪から子供の安全を守るため，防犯見守り隊を結成し，防犯推進委員が主体となって学校とも連絡を取り，ワンワンパトロールや買い物に出掛ける方を含めてパトロールを実施し，監視の目を光らしています。最近では見守りをしている防犯推進委員と児童とが顔見知りになり，挨拶を交わすようになってきましたので，児童も他の不審者と区別できるようになってきたと思われます。

桂川学区は，この30周年を契機としてこれまでの伝統と歴史の上に立って，次の40周年に向けてさらに『安心して暮らせる明るいまち桂川』を目指し努力してまいります。各位の一層のご支援をお願い申し上げます。

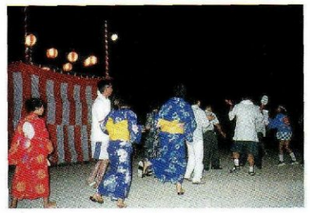

平成18年11月桂川地区　空からの状況


昭和32年の風景（原田克彦氏提供）


阪急上桂駅の桜

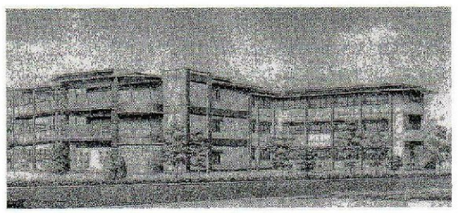
平成9年6月　桂川街道開通

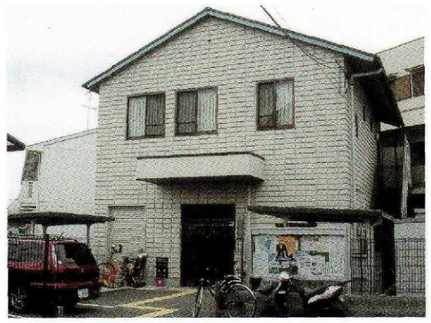
平成16年時代祭当番学区


桂川夏まつり

桂川学区民体育祭（玉入）

昔の遊び・なわ作りふれあい活動


桂川小学校北校舎（平成15年11月完成）


平成16年3月桂川自治会館竣工